

二〇二五年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

文学研究科 日本文学専攻(博士前期課程)

科目: 論文: 専門科目 (辞書使用: 不可) [別紙の解答用紙を使用すること]

【問題Ⅰ】 自分がこれまでに最も深い感銘を受けた、日本文学・漢文学・比較文学の作家・作品、および国語学の研究書について、論述せよ(上記のテーマのうちから、一つだけを選んで複数選んでもどちらでもよい)。

【問題Ⅱ】 次の(一)～(十八)の問題のうちから、三題だけ選んで解答せよ。なおそのうちの二題は、必ず自分の希望する時代・分野の問題をひとまとまりで選ぶこと(たとえば、『日本近代文学Ⅰ』であれば、(九)と(十)を選び、それ以外の問題から任意に一題選ぶ)。

《日本古代文学Ⅰ》

- (一) 『萬葉集』の歌における「旅」の概念について説明せよ。
- (二) 『古今和歌集』仮名序の捉える「萬葉観」について説明せよ。

《日本古代文学Ⅱ》

- (三) 紫式部の著作について知るところを述べよ。
- (四) 次の本文は、『伊勢物語』百七段の一節である。傍線を現代語訳した上で、この作品と関わりの深い平安時代の文学作品(二つ以上)について述べよ。

この問題は、著作権の関係で掲載できません。

《日本中世文学》

- (五) 中世における芸能と文学との関係について、知つていることを述べよ。
- (六) 藤原俊成と藤原定家が和歌の歴史の中で果たした役割について論述せよ。

《日本近世文学》

- (七) 人情本について、代表的作者・作品にふれつつ、知つていることを述べなさい。
- (八) 松永貞徳について、知つていることを述べなさい。

《日本近代文学Ⅰ》

- (九) 一九一〇(明治四三)年の大逆事件のあとは「冬の時代」と言われるが、その時期の文学や思想にはどのような特徴があったか、具体的な作家名や作品名をあげながら論述しなさい。
- (十) プロレタリア文学と転向文学について知つていることを書きなさい。

《日本近代文学Ⅱ》

- (十一) 日本社会の近代化と近代詩の関係性について、知つていることを具体的に述べよ。
- (十二) 戦後の詩誌『荒地』について、知つていることを具体的に述べよ。

《日本近代文学Ⅲ》

- (十三) 夏目漱石の前期三部作について、その特徴とはどのようなものか説明しなさい。
- (十四) 近代日本における女性作家の活躍について、知つていることを述べなさい。

二〇二五年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

文学研究科 日本文学専攻(博士前期課程)

科目: 論文: 専門科目 (辞書使用: 不可) [別紙の解答用紙を使用すること]

《国語学》

- (十五) 日本語の指示詞(コソアド言葉)について、知るところを述べよ。
 (十六) 日本語のオノマトペ(擬音語・擬態語)について、知るところを述べよ。

《漢文学》

- (十七) 次の文章を読んで次の問いに答えよ。(送り仮名を省いた箇所がある)

この問題は、著作権の関係で掲載できません。

『韓非子』内儲説上篇による)

注 狐疑之訟——白黒付けがたい訴訟。

問一 傍線部①を、書き下し文にせよ。

問二 傍線部②を、書き下し文にし、口語訳せよ。

- (十八) 『楚辭』の作者と作風について、日本の研究成果を踏まえて説明せよ。

《比較文学》

- (十九) 志賀直哉の作品における自然と文学との関係について述べなさい。
 (二十) 芥川龍之介の作品を取り上げて、その文学とキリスト教との関係を記述しなさい。

解答は、別紙の解答用紙に行なうこと。以下の余白に記してはならない